



きよさとっ子

令和7年度の清里小は児童の「心（SHIN）」を育てます

校長 渡邊 正博

4月より、清里小学校に赴任しました、校長の渡邊正博です。どうぞよろしくお願いいたします。

4月8日。15人のかわいい新1年生を迎え、全校82人の子どもたちで、令和7年度の教育活動がスタートしました。転入職員は私を含め6人、総勢20人を超えるスタッフです。保護者・地域の皆様とともに、清里っ子の成長を支えていけるよう全力で教育活動に取り組みます。

さて、昨年度、当校は創立20周年の節目を迎えました。「20年目のSHIN化」と題して、

- ① 「対話」を大切にした授業への「進化」
- ② 自分のよさを自覚しながら友達に寄り添う温かい人間関係の「深化」
- ③ ふるさと清里の「ひと・もの・こと」を大切に新たなことに挑戦する「新化」

に取り組みました。

今年度は、「SHIN化+（プラス）」と題して、昨年度培った3つの「SHIN化」を基盤に、子どもたちひとりひとりの「心」を育てる「心（SHIN）化」に挑戦します。

4月9日。登校班初日は、あいにくの雨でした。1年生は雨合羽をすっぽりとかぶり、雨に濡れながらの登校でした。児童玄関に着くと、登校班長の6年生が1年生の雨合羽を優しく脱がせ、雨合羽に付いた水滴を手で払い、小さくたたんで1年生に手渡していました。その後も1年生の長靴を下駄箱に入れ、並ばせて1年生教室の前まで連れて行きました。

その日の休み時間。1年生教室は、1年生と遊びにきた上級生であふれていました。きっと、自分たちも1年生の時に当時の上級生からしてもらってきたのでしょう。なんと純粋で気持ちの優しい子どもたちでしょうか。

令和7年度はこんな素敵な子どもたちが、「優しくて、強い心」をもち、未来をたくましく生きていけるように、職員一同、精一杯指導・支援に努めます。皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

